

新年のよろこびをあらわすことばに「御慶」というのがあります。親鸞聖人は、この「慶」という字の意味を

ウベキコトヲ エテ
ノチ ヨロコブ
とおっしゃっています。つまり来たるべき新年を、おおみそかに前もつてよろこぶというのではなく、まさにいま、わたしたちは、二年の元旦を迎えて、ウベキコトヲ エテよろこぶわけです。

ところで、聖人のおっしゃったウベキコトとは、何でしよう。わたしたちは、ウベキコトといえば、すぐさま間の物質的欲望を満たすことと考えがちですが、聖人のお心は違うではありません。ウベキコトとは、まさしく、わたしたちの心の安らぎのことです。寺報「善巧」は、そんなあなたの間に答える、寺と門信徒の機関として、今後、三ヶ月に一回、皆さまのお宅にお届けします。どうぞどうぞ、ご愛読下さい。

新年のよろこびをあらわすことばに「御慶」というのがあります。親鸞聖人は、この「慶」という字の意味を

ウベキコトヲ エテ
ノチ ヨロコブ
とおっしゃっています。つまり来たるべき新年を、おおみそかに前もつてよろこぶというのではなく、まさにいま、わたしたちは、二年の元旦を迎えて、ウベキコトヲ エテよろこぶわけです。

記念事業の鐘楼の改築、会館の新築も成り、三年前からまた五〇〇年、五〇〇年慶讃法要がいよいよこの九月勤修されることになりました。

ごえはんも何とか元気で勤められそうです。長男・次男そしておまけに若坊守も得度させていただきました。

そして又、この慶讃法要を楽しみに待ち、命をかけて記念事業を進めた若院の一周年もその前日に勤まります。みなさん、一緒におまいりしましょう。

俱会一處のよろこびを共にかみしめましょう。

善巧寺開基
500年
前住職
前坊守 50回忌
平成3年 勤修

日程が決まりました

五〇〇年 法要

善巧寺開基五〇〇年 前住職・坊守五〇〇年 慶讃法要

九月二十九日(日曜日)

午前十時 記念法話

十一時 功労者表彰式
午後一時 稚児行列
法要

記念講演

雪華院釋隆弘法師 一周忌法要

九月二十八日(土曜日)

午後二時

赤光白光
本願寺新報 1985.5.20

今度発売されたビデオ「親鸞さまの寺」のオープニングを見ると、京都の町並みに一際大きく高くそびえる本願寺の両堂が上空からとらえられている。徐々にそれが近づくと、御影堂は灰黒色、そして阿弥陀堂は新装なつて銀色に輝いて見える。

▼一千万門徒の懇念の結果で修復工事が完成し、いよいよこの二十二日から慶讃法要が當まれることは、まことにもってよろこばしいことである。「先人の熱意と努力を後世に伝え、弥陀一仏への帰依のすがたを深めよう」と呼びかけられるご門主の中も、さぞかしある。

▼ところで、この「慶讃」という言葉、なかなか味わい深い。一般によろこびを表わすときに使うのは「喜」の字だが、これのもつ意味は、高つきに盛り上げた食べ物のこと。本堂内陣の供物をよくみると、なんだかこの字に似てみえる。他に「賀」の字もよろこびに使うが、これは財貨や祝辞を贈つてよろこぶこと。「欣(よろこ)ぶ」と書けば、大口あいて笑いよろこぶの意となるという。

▼宗祖のお言葉の中には「歎」の字がよく使われる。これはご自身で「うべきことをえてむずとかねてさきよりよろこぶ」とおっしゃっている。法要を間近にひかえた私達のよろこびともいえよう。そして「慶」の字は、食物や外貨のよろこびでなく、心のよろこびである。「うべきことを(心に)えてよろこぶ」ということだ。本堂という建物の器は立派になつたが、わが心の器はどうなつか…宗祖のお心と、ご門主の願いをふくめて、このたびの慶讃法要で、よくよくかみしめてみたい。

ほんとうに有難うございました。心からお礼申しあげますとともに重ねていま一步のご協力をお願いいたします。

善巧寺總代会・同法要
実行委員会　鬼原勝次
善巧寺住職　雪山俊之

中健三郎、浦沢一郎、大島浅治	尾沢正敏、尾村石次郎、尾村豊、
浦田義信、佐々木次夫、朝野要、	尾沢清浩、橋政憲、丸田信夫、
桝沢春枝	東狐義之▽五万円 谷口重義、
桝沢	尾沢清司▽二万円 山本友吉
▽二十万円 開沢信一、	開沢弘、藤沢勇治▽十五万円
▽二十万円 開沢茂、	開沢国雄▽十三万円 藤沢生一、
▽二十万円 藤沢義雄、	開沢利雄、開沢英一、藤沢政次、
▽二十万円 藤沢庄造、開沢稔▽八万円 藤	開沢俊之、開沢弘治、島田信夫、
▽二十万円 藤沢久作、藤沢	開沢利雄、開沢豊作、開沢宏之▽三万
▽二十万円 中坂宗作、高松昭春、島田三郎、中坂百合	円 開沢憲一、藤沢清
▽二十万円 中坂政信▽三万円 枝▽五万円	▽二十万円 船屋幸弘、
田家・柳沢	▽十萬円 植木宏、東狐幸一、橘
生地	新作、野崎高明▽七万円 根岸は
▽十萬円 植木宏、東狐幸一、橘	る▽五万円 高倉茂、植木孝、根塚
新作、野崎高明▽七万円 根岸は	豊春、根塚登久子、根塚隆弘、根塚
▽十萬円 植木宏、東狐幸一、橘	潔、島田勝、船屋文治▽三万円 東
新作、野崎高明▽七万円 根岸は	狐節、長沢又作▽一万円 長沢又作
▽十萬円 植木宏、東狐幸一、橘	▽十萬円 中坂宗作、高松昭春、島田三郎、中坂百合
新作、野崎高明▽七万円 根岸は	▽十萬円 中坂政信▽三万円 枝▽五万円

中坂与一	一万円	川内政雄
石田	十五万円	森岡昭
▽十万円	柄沢重盛、森岡尚	
▽五万円	柄沢良雄、柄沢光	
吉松誠次、森岡清松、柄沢久		
▽三万円	柄沢栄作	
中陣	三十万円	丸田堅
▽十万円	丸田実、丸田聰、	
田久次、丸田邦明、大野弘喜		
丸田甚吾、丸田博昭、越後亮		
丸田守孝、丸田和重、丸田尚		
丸田進、丸田正一、丸田一士		
大野開	五万円	丸田敏弘、
田梅壱		
魚津	三十万円	浦山久
▽十万円	佐藤勲、山本秀雄	
口正、浦山みき	五万円	公
律雄	二万円	森岡春信
経田	五万円	山内幸男
▽三万円	中坂庄吉	
出	十万円	山根駒義、山
清治、山根としえ、山根浅二		
山根武夫、谷口義博		
舟見	十万円	内島弘之
樽井弘、山本健雄	七万円	
下順一	五万円	橋場東作、
場一二三	二万円	野崎栄吉
浦山新	七百万円	鬼頭
川内義尊		

勝	橋	山	根	口	雄	丸	夫	男	丸	一	志	雄	二	
原貞男▽十五万円	浦滝友一▽三 十万円	鬼原文二・富子▽二十 万円	鬼原みつ、鬼原六義、鬼 原長之助▽十万円	浦滝甚一、 鬼原賢治、鬼原幸晴、浦滝 武雄、鬼原長吉、鬼原隆志、鬼 原勇、鬼原友義、浦滝政司、鬼 原孝嗣、鬼原政栄、浦滝善造、 鬼原義治、鬼原利秋	次▽三十五万円 浦滝友一▽三 十万円	浦滝友一・富子▽二十 万円	鬼原文二・富子▽二十 万円	鬼原みつ、鬼原六義、鬼 原長之助▽十万円	浦滝甚一、 鬼原賢治、鬼原幸晴、浦滝 武雄、鬼原長吉、鬼原隆志、鬼 原勇、鬼原友義、浦滝政司、鬼 原孝嗣、鬼原政栄、浦滝善造、 鬼原義治、鬼原利秋	次▽三十五万円 浦滝友一▽三 十万円	浦滝友一・富子▽二十 万円	鬼原文二・富子▽二十 万円	鬼原みつ、鬼原六義、鬼 原長之助▽十万円	浦滝甚一、 鬼原賢治、鬼原幸晴、浦滝 武雄、鬼原長吉、鬼原隆志、鬼 原勇、鬼原友義、浦滝政司、鬼 原孝嗣、鬼原政栄、浦滝善造、 鬼原義治、鬼原利秋
島田栄松▽三万円	島田丈久	島田正一、島田松伊 和、川瀬敏久、川瀬恭一、川瀬 義雄▽五万円	川瀬八郎▽四五 円	山本正義▽三万円	川瀬忠 夫、川瀬久雄	板屋	東狐	川瀬達也	川瀬正一▽十万円	川瀬久義▽十五万円	川瀬正一、川瀬 和、川瀬敏久、川瀬恭一、川瀬 義雄▽五万円	川瀬八郎▽四五 円	山本正義▽三万円	川瀬忠 夫、川瀬久雄
▽二十万円	島田正一、島田松伊 和、川瀬敏久、川瀬恭一、川瀬 義雄▽五万円	川瀬八郎▽四五 円	山本正義▽三万円	川瀬忠 夫、川瀬久雄	板屋	東狐	川瀬達也	川瀬正一▽十万円	川瀬久義▽十五万円	川瀬正一、川瀬 和、川瀬敏久、川瀬恭一、川瀬 義雄▽五万円	川瀬八郎▽四五 円	山本正義▽三万円	川瀬忠 夫、川瀬久雄	
島田正一、島田松伊 和、川瀬敏久、川瀬恭一、川瀬 義雄▽五万円	川瀬八郎▽四五 円	山本正義▽三万円	川瀬忠 夫、川瀬久雄	板屋	東狐	川瀬達也	川瀬正一▽十万円	川瀬久義▽十五万円	川瀬正一、川瀬 和、川瀬敏久、川瀬恭一、川瀬 義雄▽五万円	川瀬八郎▽四五 円	山本正義▽三万円	川瀬忠 夫、川瀬久雄	板屋	

田開代子、桑原淳子、井堂やよい、道法睦子、佐々木安正、善積治子、谷梅枝、谷口芳雄、種村健二郎、森正隆、佐々木哲哉、陽子（岸和田）夢を語る会、北川トキエ、花の会有志一同、岡田設計事務所、後藤慶子（登美の里）、浜田節夫（和歌山）、細川鉄工（黒部）、長谷川みさ▽五万円 福島きよ由紀子、雪山有花、八懸正治、森内庄一、高田春枝、松田みどり、大藪昌枝、富山ウレタン▽三万円 雪山俊隆、河村ふさ、栗山秀吉、大田文次、中みさ、専念寺細木頭曉▽二万円 大藪昌枝、雪山教隆、八尾亨、中利夫、大田昌和ほか、堀和代▽一万円 田中澄子、今泉佐堂子、藤原清子、中谷靖、渡辺さかえ、上野忠一、関口茂文、鬼原秀夫、高倉光一、善積利津子▽五千円 石黒徹、谷口芳雄

木健三郎、浦沢一郎、大島浅治、
浦田義信、佐々木次夫、朝野要、
柄沢春枝

中坂与一▽一万円 川内政雄
石田 ▽十五万円 森岡昭一
▽十万円 栃沢重盛、森岡栄一

次▽三十五万円 浦滝友一▽三十
万円 鬼原文一・富子▽二十一
万円 鬼原みつ、鬼原六義、鬼

飯野・新浜 ▽十二万円 島田
久徳▽十万円 高岡俊博、板倉
弘▽七万円 板倉一好▽六万円

田開代子、桑原淳子、井堂やよい、
道法睦子、佐々木安正、善横治子、
谷梅枝、谷口芳雄、種村健二郎、

木健三郎、浦沢一郎、大島浅治、
浦田義信、佐々木次夫、朝野要、
柄沢春枝

中坂与一▽一万円 川内政雄
石田 ▽十五万円 森岡昭一
▽十万円 栃沢重盛、森岡栄一

次▽三十五万円 浦滝友一▽三十
万円 鬼原文一・富子▽二十一
万円 鬼原みつ、鬼原六義、鬼

飯野・新浜 ▽十二万円 島田
久徳▽十万円 高岡俊博、板倉
弘▽七万円 板倉一好▽六万円

田開代子、桑原淳子、井堂やよい、
道法睦子、佐々木安正、善横治子、
谷梅枝、谷口芳雄、種村健二郎、

☆前お裏方様よりお志☆

本願寺大谷嬉子前お裏方様から「むずかしい子供への伝道に亡き御主人の遺志をついで勵んでおられる若坊寺さんがないとおしゃく」と尊いお志をいたしました。ありがとうございましたこと、また一つ喜びを頂きました。



雪山裕子さん
土真宗顕
十日間、京
都にある淨
土真宗顕

寺派の西山別院で、僧りよの

資格を得るために得度修行す

里村先生 ありがとうございました



五十四年、長きにわたって善巧寺の祠堂会に御出講いただき、休ませてほしいとのことであります。五十四年前といえば若院夫めされたこともあり、この辺で

尚、寺報「善巧」40号では若院が里村先生に五十年の思い出をお書きしています。ご一読を。

また次男教隆は、得度のご報告をかねて浦山へお伺いさせて

寺 ごよみ

八月

一日 一時半お講

生地・中新・石田

二時次男得度披露
一五日 こども盆おどり

一六日 盆会

一九一〇日 雪ん子劇団合宿
二四日 夏の定期公演

二〇日 富山・報恩講

二一 日 富山・報恩講

二八 日 二時隆弘師一周忌法要

二九 日 午前記念法話・表彰式
念慶講法要

浄土真宗高田派本山専修寺
常磐井和子お裏方様御臨席

長男俊隆・次男教隆 お盆まいりに

昨年七月、長男俊隆が得度をし、そのご報告もかねて浦山の総代さん宅へお盆まいりに伺いました。今年は浦山以外の総代さんへおまいりさせていただきます。学生の身ではまだしばらく門徒報恩講もままなりません。せめて総代さんのお宅だけでもという思いです。

また次男教隆は、得度のご報告をかねて浦山へお伺いさせて

いただきます。僧になりたての若い二人をどうぞ暖かく迎えてやつてください。

尚、教隆が骨折で入院中はお見舞いをありがとうございました。

紙面にて御礼申し上げます。



寺 ごよみ

九月

二〇日 富山・報恩講

二一 日 富山・報恩講

二八 日 二時隆弘師一周忌法要

二九 日 午前記念法話・表彰式
念慶講法要



今日は医者通いの日。孫娘の運転で三日市の町医者迄出かけた。十四年前、一過性脳虚血症で倒れ、此の医者に駆け込んでからずつと此處の薬の厄介になつてゐる。今は、老衰なのか、病気なのか、判然としない状態だが、兎に角血圧をはかり、心電図をとり血液検査をし、目下のところ心臓に異状なしと云うところらしい。先客が十人居り、今日も帰宅は昼近くになる。何時來ても待合室には季節の花があり、毎日帰宅は昼近くになる。婆さんは百四十八、下が八十。こん

ど云う経験があり、主人の轍を

踏まぬようにと、此處に来て血圧の薬を貰つてゐること。今度は薬を少し変えますからと云いいと云われる。それより目下視力が著しく減退し、眼の疲れが激しいことを訴えると、すぐ

に専門医に行くよう紹介状を書いて頂く。

此處へ来ると

何時も門徒の知

人の誰かれに出会う。今日も

の方もよろしくたのむとお願ひする。

昼食、山菜うどん。富山より

夕食 コロッケ。

古九谷の大皿に盛る山わらび

病院の待合室のえびね草

下である。御主人が高血圧で倒れて七年間も植物人間で過した

授が急病で日赤病院入院の知らせである。去年の暮れ、娘さん

祠堂会ご案内 7月16日~19日

木村梢さんと共に
『お寺座サロン』
おいしいお茶とお菓子がついて、楽しくて、ためになる、カルチャーシリーズ第二弾!



八月一日に得度のおひろめをする次男教隆を祝つて、木村梢さんがかけつけて下さいます。

トクド・ヒロー・イヴ。

木村梢さんの講演をきいて、

「さよならの贈り物」を見たあと、

教隆や家族もまじえて「親子・夫婦・家族」についてのトーク

ショードです。門徒さんだけの会ではありません。どうぞお友達をさそっておこし下さい。

お茶とお菓子つきで会費千円。花の会がお世話いたします。

七月十六日から四日

間にわたって、恒例の「永代祠堂会」がつとまります。"しどうきょう"は、お寺を護る門徒の皆さんの先祖のご法事です。善巧寺ではこの期間中に特別法要を合わせてつとめておりますので、ご縁のある方は必ずお参り下さい。

香を。

白鶴会物故者法要 十七日午後一時 善巧寺仏婦「白鶴会」の物故者ご家族と、現白鶴会の会員の方はおさそい合わせお参り下さい。

戦没者追弔法要 七月十八日午後一時 戦没者のご遺族の方は是非お参り下さいますように。

内陣法名特別法要 七月十九日午後一時 例年通り、特別懇志志納者の内陣焼香があります。

総代会物故者法要・寺族物故者法要 七月十六日午後一時 なくなりました。お満座は十九日です。おまちがえのないように、隣近所声かけ合っておまいり下さい。



楽しく美しく
わかりやすい

雪山 隆弘

ビデオアニメ
新シリーズ「念佛物語」

第十一巻

「ほんがんじ」

原案

本山参拝



院号申請懇志

が変りました

この度、七月一日をもつて、

本山に対しての院号申請の冥加金の額が改訂されることになりました。現在、院号を頂く際には十万円以上の冥加金を納められた方に対して院号が下付されますが、その金額が十五万円以上となります。また、御本山に帰敬式(おかみそり)をお受けになる方も、冥加金が現行の五千円から七千円へと改訂になります。

十日間の習礼を終えて無事得度させていただきました。十九年前若はんが習礼をうけた同じ西山別院、感無量でした。若はんの手引きで……ありがたいことです。



雪ん子 ラジオに出演

ゴールデンウイークの五月三日、中麻由子、松木美紗姉妹が有花先生のレポートするK.N.Bラジオ「クローズアップにいかわ」に出演、「このお休みは田植えと子守りのお手伝い」と素朴な返事

百余人のお母さん達が感動して下さいました。三十日は、富山市熊野小学校での招待公演でした。八月は二十二日新湊公演、二十四日夏の定期公演、二十六日富山公演と雪ん子大繁盛です。

で聴視者を感激させました。この番組では、音沢の高島彦久さんらも紹介しましたが、ちょっといい話、おもしろい話題、ゆかいな人など、会館の有花までご一報下さい。六月二十三日には中央公民館で県母親クラブ大会が行われ、雪ん子の公演と女先生の講演に百余人のお母さん達が感動して下さいました。三十日は、富山市熊野小学校での招待公演でした。八月は二十二日新湊公演、二十四日夏の定期公演、二十六日富山公演と雪ん子大繁盛です。

植えたり、さし木をしたりしたものです。「陽当りの少ないこの境内にはあじさいがよくふさう、内にはあじさいがよくふさう、と言っていた、若はんのあつい心がここにもあふれています。

合

掌